

令和6年竹田市教育委員会第7回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年7月5日（金）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	志賀 哲哉
1 番委員	進 みづほ
2 番委員	吉野 聖子
3 番委員	岡 茂樹
4 番委員（教育長職務代理者）	甲高 幸一
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育総務課長	羽田野京子
学校教育課長	渡邊 幸美
生涯学習課長	藤島 勲
まちづくり文化財課長補佐	真田 博幸
竹田中央学校給食共同調理場長	甲斐 正寿
歴史文化館次長	櫛浦 幸徳
事務局員	古澤 邦利
教育総務課課長補佐	
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第6回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項
議題第13号 竹田市教育委員会委員の席次について
 - (4) 報告事項
報告第4号 令和6年度竹田市教育費予算（6月補正）について
 - (5) 審査事項
 - (6) 協議事項
 - (7) 連絡事項
 - (1) 7月幼・小・中行事予定表
 - (2) 7月教育委員会関係日程（予定）表
 - (3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員会からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

〔開会時刻：午後 3 時 00 分〕

羽田野教育総務課長	委員の出席状況でございます。教育長及び委員 4 名出席、傍聴者はいらっしやいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
志賀教育長	皆さんこんにちは。ご多用の中お集まりいただきありがとうございます。本日の議題審議に入る前に、報告いたします。6 月 6 日に開催されました竹田市議会第 2 回定例会本会議において、吉野聖子委員を教育委員として引き続き任命することについて、議会の同意を得ました。委員の任期は令和 6 年 6 月 7 日から令和 10 年 6 月 6 日までです。ここで、吉野聖子委員から再任のごあいさつをいただきたいと思います。お願いします。
吉野委員	皆さんこんにちは。この度、教育委員の 2 期目を務めさせていただくことになりました。4 年間で学んだこと、教わったこと、感じてきたことを無駄にしないように、竹田市の子どもを取り巻く教育環境がよりよいものになるように、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。
志賀教育長	ありがとうございます。吉野委員には、改めてよろしくお願いいたします。あと、お三方も末永くよろしくお願いいたします。 それでは、ただいまから第 7 回定例会を開会します。 第 6 回定例会の会議録は、すでにお配りしていますが、質疑、修正等ありませんか。
委員	（「はい。」の声）
志賀教育長	それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。 （署 名）
志賀教育長	次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
羽田野教育総務課長	教育長報告を申し上げます。5 日、教育委員会第 6 回定例会。6 日、議会第 2 回定例会、南部小の第 58 回堂おくり、及び白丹小学校 P T A 意見交換会。7 日、竹田市立学校職員安全衛生委員会。8 日、竹田小の第 72 回友情の堂おくり。11 日、竹田市中体連球技・剣道大会。12 日、第 1 回竹田地区教科用図書採択協議会、中体連の 2 日目。13 日から 14 日、議会本会議一般質問。16 日、市民球技大会。17 日、城原小 P T A 総務部との意見交換会。18 日、第 4 回校長・所長会議、及び瀧音楽祭担当者会。19 日、議会本会議。20 日、中体連陸上競技大会。22 日～23 日、令和 6 年度竹田高校関東同窓会。24 日、竹田市放課後子ども教室コーディネーター会議。25 日、令和 6 年度竹田市人権啓発推進協議会総会。26 日、議会本会議最終日。27 日、定例課長会議、及びトリニータ連携協力協定締結式。28 日、竹田サイコープロジェクトタケタカタワー2、7 月 4 日、竹田市地域学校協働本部運営委員会、及び特別支援ネットワーク会議。そして、本日 5

	日、教育委員会第7回定例会。以上です。
志賀教育長	教育長報告に対する質疑等ありませんか。 甲高委員。
甲高委員	関連がございますので、6月6日の白丹小学校PTA意見交換会と、6月17日の城原小PTA総務部会との意見交換会について報告をお願いしたいと思います。
志賀教育長	教育総務課長。
羽田野教育総務課長	はい。それでは、6月6日に行われました白丹小学校PTAの意見交換会と17日に行われました城原小学校PTA総務部会との意見交換会についてお知らせします。白丹小学校について、当日はP家庭数11戸のうち2戸は欠席でしたが、ご両親揃って参加された方もあって、合計12名の参加がありました。これまでの経過、特に2月に開催されましたが不成立となった統合検討委員会について報告を行い、また不安の声のあった放課後児童クラブの利用状況について説明しました。保護者からの主な意見をご紹介します。「両校の交流計画や統合までのロードマップが全く示されず不安だが、それが分かれば前向きに協議に応じたい」、「久住小と白丹小だけの統合であれば統合しなくてよい」、「久住中の跡地はぽかんと穴が開いたようで小学校もそうなると思うとさみしい」などの意見が出されました。また、PTA会長からは、5月23日に保護者懇談会で出された意見についてまとめるので、この意見に対して文書で回答してほしいとの申し出がありました。その旨を了承し、学校統合は子ども達の望ましい教育環境のための提案であることを伝えました。意見に対する回答を準備し、引き続き意見交換を行っていきます。城原小学校では昨年は保護者等の要望のため1度も保護者に対しての説明や意見交換が出来ていなかったのも、まずは総務部会の役員の方とPTA総務部会の後お時間をいただき、総務部会の会長、副会長2名の計3名と意見交換を行いました。これまでの経過と統合検討委員会についての説明を行い、意見を伺いました。「これまでの地域説明会や保護者アンケートを受けても、説明は今までと何も変わってない」、「今年は開校150周年を迎えるためその準備の中、統合の話はできない」「これまでの要望や意見に対する納得できる答えがない限り話が進まない」という意見がありました。こちらでもその都度丁寧に回答してきましたが、十分でないということです。保護者に対して意見交換会を行いたい旨を伝えたところ、PTA総会では時間がない、150周年の式典までは難しいとのことでした。しかし教育委員会としても式典のある11月まで待つのは難しいので、並行して統合の話も進めるための意見交換会の場を設定してほしいと伝えました。いずれにしても、今後も保護者とのこうした場を設定して、意見交換を重ねていきたいと考えております。以上です。
志賀教育長	甲高委員、よろしいでしょうか。
甲高委員	はい。
志賀教育長	その他、吉野委員。

吉野委員	今の羽田野課長のお話の中にあった、白丹小学校に関して、放課後児童クラブの利用条件といった心配の声というのはどういうものか教えていただいていいですか。
志賀教育長	教育総務課長。
羽田野教育総務課長	白丹小学校と久住小学校の放課後児童クラブの形態が違っているというのがありまして、白丹小の方は地元の方で、事務局も固定されていて安心できるということがあるんですが、久住小の方は、保護者会が中心で、1年に1回は保護者の方が当番に関わるという決まりがあるそうです。それも保護者の方にも大変さを分かってもらうだとか、あって当たり前という気持ちをなくすために、そういうことを行っているということでしたので、その辺を説明して、すり合わせは難しいんですけども、していく必要があるということの説明しました。利用料金ですとか、利用時間、そういったものを踏まえて1枚紙で状況をお伝えしました。
志賀教育長	よろしいでしょうか。
吉野委員	はい。
志賀教育長	その他にないででしょうか。 それでは、次に移ります。本日の審議事項は1件です。初めに議題第13号、竹田市教育委員会委員の席次についてです。教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。議題第13号、竹田市教育委員会委員の席次について、提案理由の説明をいたします。この案は、吉野聖子委員の任期満了に伴い、先般、6月6日の議会定例第2回定例会初日に、吉野委員の再任にかかる議案の同意議決がなされました。吉野委員が再任されたことにより、竹田市教育委員会会議規則第2条「委員の席次は委員の任命があった都度教育長が会議に諮って、これを定める。」の規定に基づき、委員の席次についてお諮りするものです。なお、席次の決定方法につきましては、これまでの慣例により、席次改正の必要が生じた場合は、その都度、議席番号を一つずつ繰り上げておりますので、今回もこの例に倣いまして、次のとおり提案いたします。委員席次1番、「吉野聖子委員」、2番「岡茂樹委員」、3番「甲高幸一委員」、4番「進みづほ委員」。以上であります。
志賀教育長	それでは説明が終わりましたので、質疑を受けます。質疑等はありませんか。ないようでしたら、議題第13号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。ただいま新たな席次が指定されましたが、次回の定例会から適用することとして、本日はこのまま着席している席次でお願いします。次に報告事項です。報告第4号、令和6年度竹田市教育費予算、6月補正について。初めに各課から説明を行い、すべてが終了した後に、質疑を受けたいと思います。

	す。それでは、教育総務課長からお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。報告第4号、令和6年度教育費予算の6月補正について、先般、6月26日に議会の議決を得ております。資料の2ページ、まず教育総務課にかかる概要でございます。歳出のみ7,619千円の増額補正ですが、金額については要求通り確定しました。旧直入幼稚園の敷地に残っている物置小屋の解体工事費495千円ですが、財政課と協議したところ、既に閉園している幼稚園の施設であることから、幼稚園管理運営費ではなく、10款1項2目教育委員会事務局費での予算措置となりました。10款2項1目、小学校管理諸費の竹田小学校の職員室の空調機、2台中1台の取替工事費62万円、10款3項1目、中学校管理諸費の工事請負費、竹田中学校のスクールバス乗降所として整備するアスファルト舗装費5,903千円、その他負担金の旧久住中学校のボーリング工事の組合員負担金601千円については要求通り確定しました。教育総務課については以上です。
志賀教育長	続きまして、渡邊学校教育課長。
渡邊学校教育課長	3ページをご覧ください。歳入のみです。デジタル田園都市国家構想交付金内示額変更による減額補正ですが、要求どおり確定いたしました。以上です。
志賀教育長	藤島生涯学習課長。
藤島生涯学習課長	はい。生涯学習課4ページ目をお開きください。5月の委員会時にご説明申し上げた要求内容から査定等で若干の変更になっております。歳入についてはございません。歳出では、10款5項3目、事業番号354公民館運営事業費（荻支所）に対して要求通り126千円が議決されました。この増額は、荻公民館事務所の空調施設改修に係る本体工事設計費に消費税を計上漏れしていたものです。次に、10款6項1目、事業番号396保健体育総務諸費について、九州地区小学生クロスカンントリーリレー開催に伴うものであります。5月の委員会時には500千円の補助金として計上していましたが、他の補助金との整合性を取るために、各細節に割り振った予算として、手数料10千円、交通誘導警備費256千円、水道使用量10千円、仮設トイレ費179千円の増額が議決されました。また、久住クロカン大会補助金については、大会の廃止に伴い1,600千円の減額が議決されております。次に、10款6項2目、事業番号397総合運動公園管理費について、陸上競技場事務室の空調施設改修のため、5月の委員会では941千円の増額を計上していましたが、業務用でなく、家庭用設備で十分対応が可能であると判断し、489千円の増額が議決されました。以上です。
志賀教育長	真田まちづくり文化財課長補佐。
真田まちづくり文化財課長補佐	はい。まちづくり文化財課です。5ページになります。歳出のみです。御客屋敷管理費ということで、2,183千円補正を要求しております。内容につきましては御客屋敷と隣のマルシヨク職員駐車場の境にある竹垣を板塀に改修するものであります。要求どおり議決されております。
志賀教育長	それでは、図書館について、羽田野教育総務課長。

羽田野教育総務課長	はい。6 ページをご覧ください。雨漏りの原因であるサッシの防水用シーリング補修工事 286 千円については要求通り確定しました。図書館からは以上です。
志賀教育長	はい。では、ただいま説明ありました 6 月補正について、質疑等はありませんか。ないようでしたら、報告第 4 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。協議事項はございません。連絡事項について、教育総務課長、説明をお願いします。
羽田野教育総務課長	はい。連絡事項(1)、7 月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の 2 ページをご覧ください。7 月 1 日、白丹小のサップ体験。2 日・3 日の両日、緑ヶ丘中・直入中 2 年生の職場体験学習。本日 5 日、菅生小の水辺の体験、竹田中の不審者対応避難訓練、及び緑ヶ丘中のサマーコンサート。8 日、菅生小のスイートコーンもぎ取り、及び竹田南部中 3 年生の租税教室。9 日、荻小 4 年生の荻柏原井路出前授業、及び竹田幼稚園の避難訓練。12 日、竹田中のミュージックフェスタ。17 日、竹田小の第 65 回蛍の里帰り。19 日、1 学期終業式、及び竹田幼稚園の夕涼み会。20 日、この日から 8 月 25 日まで夏季休業となります。また 26 日まで大分県中学校総合体育大会。25 日、大分県吹奏楽コンクール。続きまして、資料 3 ページ、本日定例会以降の教育委員会関係の 7 月日程(予定)表です。7 月 9 日、部活動検討委員会。10 日、世界かんがい施設遺産設立総会。11 日、校長・所長会議、竹田学校保健会総会、及び竹田市学校給食運営審議会。12 日、竹田市子ども読書活動推進計画第 1 回策定委員会。13 日、シェルパの会岡城石垣ボランティア清掃作業、及び社会を明るくする運動竹田市民大会。14 日、第 39 回入田名水祭り河川プール開き。15 日、令和 6 年度竹田高校同窓会総会。16 日、サフラン終業式、及び竹田市健康づくり推進協議会。18 日から 19 日にかけて、岡城調査整備委員会。19 日、要保護児童対策地域協議会代表者会議、及び 1 学期終業式。22 日、小学校英語授業力向上研修。24 日、竹田市戦没者追悼式。29 日、第 2 回竹田地区教科用図書採択協議会。30 日、定例課長会議。8 月 1 日、架け橋カリキュラム開発会議。5 日、第 8 回定例会。資料 1 ページにお戻りをいただきまして、(3)の今後の主な予定です。①教育委員会第 8 回定例会は、8 月 5 日(月)15 時から、本庁議室での開催を予定しております。②同じく第 9 回定例会は、9 月 5 日(木)15 時、同じくこの会場での開催を予定しております。連絡事項につきましては以上でございます。
志賀教育長	質疑等ありませんか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	では連絡事項についてよろしいでしょうか。それでは、各課から報告事項があればお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

羽田野教育総務課長	はい。先ほどの白丹小学校と城原小学校の件につきましては、お伝えしましたので、その他、菅生小学校についてです。7月1日に菅生スクールバス説明会を行いました。すでに南部小学校に通っている保護者、菅生小の保護者、それに伴って竹田南部中に通っている子ども達も路線バスでなくてスクールバスという要望がありましたので、その保護者も対象に菅生分館で行いました。児童生徒の乗降場所、時間とルートについての案を提示し、今後のスケジュールについて説明しました。一部欠席の方もありましたので、これから協議を進めていく予定にしております。以上です。
志賀教育長	渡邊学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。学校教育課からは2点です。まず1点目は、6月20日に竹田市中体連陸上競技大会が行われました。休日の部活動の地域クラブ移行に伴い、地域クラブからの出場が可能となったため、今年度初めて竹田支援学校中学部の3年生が陸上大会に参加しました。さらに、砲丸で県大会出場権を獲得し、7月24日大分県中学校総合体育大会に、竹田市代表として出場します。2点目です。6月28日に竹田サイコープロジェクトタケタカタロー2を開催しております。今年度も市内の中学校3年生を対象に、市内で農業に従事している4人の方々をパネラーに迎え、自分の生き方や竹田市について考える時間を設定しました。今年も、TOSの藤村アナウンサーに進行をお願いし、中学時代のことやお仕事の内容、今の仕事を始めたきっかけ等について話していただきました。荻町でミニトマトを作っていたら清松さんは「たくさんの人に出会って、たくさんの方の話聞いて下さい。話して下さったことを一旦自分の中で受け止めて、選択したり判断したりする材料にしてほしい」と中学生に向けてメッセージをいただきました。また、直入町で牛を育てていた馬場さんは「皆さんは、これからはいくつもの扉に直面するでしょう。その扉を開けるのか開けないのかという判断をする力を付けてほしい」と話していただきました。生徒たちはそれぞれに質問を準備していましたが、お話を聞いてさらに伺いたいことも出てきたようです。倉木でカボスをつくっている渡邊さん、久住でねぎと大根をつくっている佐藤さんもそれぞれに大切なメッセージを伝えて下さいました。90分で4人の方々のお話でしたので、時間が足りないなという印象でした。今後、学校のキャリア教育の中等で再度、呼び出して活用していただけるといいなと思ったところです。以上です。
志賀教育長	藤島生涯学習課長。
藤島生涯学習課長	はい。生涯学習課からは2点の報告と、今後予定されています3つの行事についてお知らせしておきたいと思います。まず1点目は竹田市と大分トリニータとの連携協力協定締結についてです。この度、竹田市と大分トリニータ（株式会社大分フットボールクラブ）は、双方の資源を有効に活用した協働活動を推進することにより、スポーツ振興や子どもの健全育成、市民の健康増進などを図り、もって地域活性化に資することを目的として連携協力協定を6月27日に締結しました。スポーツのみならず幅広い分野での事業構築が考えられますので、各課に呼びかけ、本協定のご活用を検討していただくこととしております。出席者は、竹田市から土居昌弘竹田市長、佐藤美樹市議会議員、志賀哲哉教育長、藤田和徳副市長、株式会社大分フットボールクラブからは小澤正風代表取

締役、小野賢治取締役、松本怜 CRO（クラブ・リレーションズ・オフィサー）が参加され無事締結を得たところです。2 つ目については、全国大会及び九州大会出場報告についてです。6 月 26 日に竹田高校山岳部、書道・吟詠部が全国大会及び九州大会の出場報告に来られました。8 月 2 日から福岡県の英彦山で行われる第 68 回全国高等学校登山大会に女子部員 4 名、7 月 5 日から鹿児島県の霧島連山で開催される、第 67 回全九州高等学校登山競技大会に男女 4 名ずつ、8 月 2 日から岐阜県瑞穂市で開催される、第 48 回全国高等学校総合文化祭に女子部員 6 名が参加されます。当日は、代表選手から力強い決意表明をいただいたところです。今後も、陸上等、県内で活躍をされている高校生も来られる予定となっています。社会人では女子のバトミントン、壮年の野球が全国大会に出場するので来られる予定になっています。

行事予定です。まず 1 つ目は第 4 回 九州地区小学生クロスカンントリー駅伝交流大会です。これまで久住高原クロスカンントリーコースは、日本一のマラソン練習コースと銘打ち「久住高原クロスカンントリー大会」を 35 回開催し、広く全国に宣伝してきました。コロナ禍以降の参加者の減少と県内参加者に偏る傾向等を総括する中で、大会を終了することとしました。そのような中、大分県小学生陸上競技連合会から雄大な久住高原クロスカンントリーコースを使用し「九州地区小学生クロスカンントリー駅伝大会」を開催したいとの申し出がありましたので、教育委員会が後援し 7 月 20 日に開催することとなりました。2 つ目は、7 月 16 日～19 日にかけて令和 6 年度大分合同新聞社旗争奪ナイターソフトボール大会を行います。上位 1 チームが 9 月 14 日～15 日に豊後大野市、大分市で開催される中央大会に出場することとなります。3 つ目は、チラシにもありますように、7 月 29 日（月）に「やさしい日本語講座」を開催します。これは大分県立図書館が推奨している講演で、グローバル化やインバウンドで日本を訪れる外国人が増える中、コミュニケーションを取るためにどのように日本語を使うのか、相手を思って使う日本語とはどのようなものかを丁寧に講義していただける講座となっています。夏休みになりますので、校長会等でもお知らせしていますが、教育委員の方も是非ご参加頂ければと思います。以上です。

志賀教育長

真田まちづくり文化財課長補佐。

真田まちづくり文化財課長補佐

はい。まちづくり文化財課からは 1 点お知らせをします。7 月 13 日土曜日に、「自然を愛する会」主催の岡城跡石垣清掃ボランティアが開催されます。これは、登山愛好家やアウトドアを楽しむグループ「自然を愛する会」により、約 6 年前から実施されているボランティア活動で九州一円から約 60 名の方が参加し、夏休みシーズンを前にしたこの時期に、日頃培ってきたロープ降下技術等を活かして、岡城跡石垣の除草作業を行っていただくものです。「自然を愛する会」が主催ということで、教育委員会では協力という形で参加を致します。10 月には、広く市民や企業に参加を募り「岡城清掃の日」が行われます。その際にはご案内いたしますので、ご参加をお願いします。以上です。

志賀教育長

櫛浦歴史文化館次長。

櫛浦歴史文化館次長

はい。お手元にチラシを配布させていただいております。次回の企画展についてです。7 月 7 日（日）から、企画展「没後 100 年 佐久間竹浦」展を開催します。竹田市は、南画の最高峰の田能村竹田の生誕地であり、多くの南画家を輩

出してきました。佐久間竹浦もその一人です。京都で田能村直入の私塾南宗画学校に入塾し、直入や田近竹邨に南画を学びました。以後、南画の制作に取り組み、明治 28 年（1895）に京都画展への出品をはじめ、大正 13 年（1924）まで大阪・京都・東京・長野・名古屋・北越等での展覧会に出品しました。やがて帰郷し、南画制作の傍ら、後進の育成に尽力し、幸松春浦、衛藤晴邨、草刈樵谷らを育てました。また、瀧廉太郎とは直入郡高等小学校の同級生で、友人でした。本企画展では、田能村竹田から始まる南画の復興にも尽力した佐久間竹浦の画業や人生を、没後 100 年を記念した回顧展として、当館コレクションをはじめとする約 30 点の作品・資料で紹介します。ゆっくりとご覧いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

志賀教育長

甲斐給食調理場長。

甲斐給食調理場長

学校給食共同調理場からは 5 つ、お知らせします。まず、パン給食の取組みについて、本年度は木曜日をパン給食の日として 4 月 11 日から大分県学校給食会が製造委託した豊後大野市のニッサン製菓で製造したパンを提供しています。昨日までに 10 回、実施しましたが、栄養教諭の話では、食味の感想も良好です。しかしながらパンの納入については、大分県学校給食会から受託した野津運送が、勤務時間の見直しにより人材確保が難しく 7 月で終了となります。2 学期からは大分県学校給食会が納入することでパン給食が継続できます。2 点目に 6 月に行われました、あ祖母学舎の宿泊体験交流学习につきまして、28 日は久住小・都野小・白丹小のグループは、悪天候が予想されたことから初日のみの行事となり 2 日目の給食提供は中止となりました。21 日の祖峰小と直入小のグループは、予定どおり学校給食をあ祖母学舎まで搬送し提供できました。3 点目です。本日、竹田市椎茸生産振興会の渡部美貴会長から乾椎茸 6 キロの贈呈がありました。豊岡小学校で贈呈式が開催されました。同会は、平成 29 年度から贈呈を行なっていただき、今年で 8 回目となりました。市内の竹田・久住両調理場で地産の特産品である椎茸を使ったメニューを提供し、食育につなげていきたいと思います。4 点目に、7 月 12 日の午前中に竹田市教育支援センター「サフラン」の児童生徒が竹田中央調理場に見学に来ます。10 名程度の予定です。5 点目は、夏季休暇中の 7 月 24 日（水）に久住保健センター調理実習室にて地元の夏野菜を使った親子料理教室を開催します。調理場では竹田市学校給食研究会の活動として、児童と保護者を対象に地場産物を取り入れた献立を親子で一緒に作り、親子のふれあいを深める活動に取り組んでいます。小学校経由で申込用紙を配付しています。学校給食改善協会からの補助金で実施するため、食材費や参加料は無料です。献立は、カレーとマリネ、フルーツエッグ等を予定しています。調理場からは以上です。

志賀教育長

羽田野教育総務課長。

羽田野教育総務課長

はい。図書館から、2 点お知らせします。1 点目は子どもの読書活動推進計画についてです。令和 2 年に策定された本計画が令和 6 年度に期間を満了しますので、今年度第 2 次計画策定のための策定委員会を開催いたします。これまでの第 1 次計画を基に 2 学期から対象の小中学校、未就学児に対してアンケートを行い、その結果を受けて見直しを行います。もう 1 点は夏休み図書館まつりにについてお知らせいたします。委員の皆様のタブレットに、そのチラシをお配り

しております。7月28日（日）、市内の小学生定員午前・午後先着10名を対象にして、今回、新たな試みとなりますが「シルクスクリーンでオリジナルバッグを作ろう！」を開催いたします。子どもたちが、図書館をより身近に感じるような催しになってほしいと期待をしているところです。図書館からは以上です。

志賀教育長

それでは、今の説明、各課からの説明に対して、ご意見、質疑等はありませんか。それでは、最後に教育委員からご意見、ご感想があれば、発言をいただきたいと思います。進委員からお願いします。

進委員

私からは2点、感想を述べたいと思います。中体連の競技大会の方に行かせていただきました。軟式野球とソフトテニスを見せていただいたのですが、とても暑い日だったのですが、みんなよく頑張っていて、また保護者の方も、とてもたくさん応援に来ていて、すごく良い大会だったと思います。野球なのですが、竹田と直入の合同チームと、竹田南部と緑ヶ丘の合同チームの2校で、初戦が決勝という状態だったのですが、合同チームとは思えないぐらい、みんなが一丸となっていて、どの子が南部で、どの子が荻なのかとかがわからないぐらい、もう本当に一体化してとてもいい試合を見せてくれました。保護者や、ほかの応援の生徒たちも、本当に一体となって応援していて素晴らしいなと思って、このまま地域移行になっても、うまくいくのではないかなというような感想を持ちました。そこで保護者の方とお話する中で、地域移行に対してですね、もう野球は結構すぐ、地域移行になっていくと思うのですが、不安もあるんだけど、陸上のようにみんな一緒になって練習ができたりすると、日頃少人数ではできない練習ができるようになるので、子どもたちにとってもいいのではないかと、楽しみにしているという声が聞かれました。見ていても子どもたちはすんわりやっていけるのかなと思いました。なので、子どもが、充実した活動ができるのが一番だと思うんですが、保護者の方、地域の方等の意見や思い等も何らかの形でくみ上げながら、あと、こちらからの情報提供を適宜にしていくと上手く行くんじゃないかなあというふうに感じました。結構前向きにとらえている方が多いかなという感想を持ちました。あと、蛍送りについてなんですけど、私事ですが私は南部小学校時代に蛍送りを経験してとても思い出に残っています。なので、今後統廃合が進んだり、学校の行事が見直されていくこともあるかと思うんですが、ぜひ続けていただきたい行事だなというふうに感じております。以上です。

志賀教育長

吉野委員お願いします。

吉野委員

はい。私は6月24日に、放課後子ども教室コーディネーター会議というのに出させてもらったのでその時に感じたことを、2つお伝えします。1つは、パソコンのことなんですけど、小学校中学校にリースで置かれていたパソコンの、リース期間が切れるという話を聞きました。児童生徒は、1人1台タブレット端末を持つようになって、タッチペンとか指とかで直感的に画面を操作して、使いこなすっていう段階に来ているかなと思うんですけど、一方で、一般的に、社会人になっても、スマートフォンやタブレットは使えるのにパソコンが一向に使えないっていう人が増えているっていう話を聞いたことがあるんです。それで、パソコンが学校にでもあれば、何か機会を見つけて授業で必ず使うとは限

らないかもしれないんですけど、クラブ活動や放課後子ども教室で利用する機会があれば、子どもたちは本当に 1 回でも触ったことがあれば、やったことがあるという自信を持って、成長していくと思うので、次にパソコンを操作する機会があったときに、抵抗なく取り組めるんじゃないかなと思っていて、そういう触れる機会を作ってあげる方がいいかなというふうに普段感じています。今後リースを続けるとか、そういう予定があるかないか、また市教委として所有するパソコンが確保できるのかどうかとかまたその中学校も含めての、使用状況とか今後どういうふうに、活用する機会があるかどうかというのをちょっとお聞きしたいかなと思います。もう 1 点は、放課後子ども教室に関わっている人は、7 月 4 日にあっている竹田市地域学校協働本部運営委員会ですね、これに出るような役割を果たしている方が結構重なっていらっしゃる。放課後子ども教室の運営にあたっては児童クラブとも連携を取りなさいってということがよく言われているので普段から情報交換をしているつもりなんですけど、先ほど白丹のお話にもありましたけど、児童クラブとかその学童保育ですね、学童保育にしてもその放課後子ども教室にしても、実施されているそれぞれの場所で本当に条件とか携わっている人とか形態がすごく様々だと思っていて、またあちこちで人手不足が言われる中で、今後その維持できなくなるところが出てきてもおかしくないのかなというふうに感じています。そこら辺は全体像とかいう把握をされているのか、また今後、突発的にここが運営できなくなったとかいう事態になったときに、どういうふうに対応していけばいいのかということもちょっと考えておいたほうがいいんじゃないかなというふうに思っています。この 2 点です。あと、進さんのお話を聞いて思い出したんですけど中体連のことですけど、球技、剣道で、体育館を使用すると思うんですけど、以前直入の統合の説明会のときに、意見が出たと思うんですけど、体育館が締め切って、冷房もないので、熱中症対策も大変だろうし、少しでも涼しい地域の体育館を活用することを考えるのもいいんじゃないかというお話があったのでそこも今年その熱中症とかなかったのかなっていう心配と、今後そういうことを考えていくのはいかがですかというお話です。以上です。

志賀教育長

岡委員、お願いします。

岡委員

私は報告事項だけです。竹田市の人権啓発推進協議会の総会がありまして、教育委員会の幹事として出席をしました。その中で 2 点お伝えしたいと思います。1 点目は、私の勉強不足もあったんですけど、竹田市の本人通知制度というものがあることを知りました。いわゆる自分の個人情報とか誰か第三者によって調べられた場合、そのことをその後に通知するというものなんですけど。竹田市もできる限り、市民の方に登録していただくことが大事だということでしたので、私も先日登録をして参りました。AI とか SNS とか個人の情報が、いかようにもご利用される時代ですので、こういった制度というのは、啓発という意味でもすごく大切なことだなと感じました。登録されていない方がおられましたら是非、登録をお願いします。それともう 1 点、総会に出席された方からですね、こういう意見ありました。「人権、人権と声高に言うから意識してしまうのではないか。」いわゆる寝た子を起こすな論だと思ってしまうんですけど、このことは、とても重要な論点だなと思います。実際なぜ、寝た子を起こすな論が間違っているのか、私も感覚的にはわかってはいたんですけど、理論的に答えることができないなと思ひまして、いろいろ調べてわかった次第です。いわゆる言葉を

知っているということと深く理解するっていうことはやっぱり本当に違うなと
考えさせられた次第です。今回部落解放中心だったと思うんですが、人権とい
うことから言えば子どもの人権というのがやっぱりすごく大事で、絡めて良い
かわかりませんが久住中の統合時を振り返って思うのは、話し合いの中で大
人が一生懸命議論するんですけど、子どもの実際の気持ちとかいうのを、聞く
場面が全くなかったといってもいい。そういうふうに子どもが置き去りにされ
ないようなことも 1 つは人権ということから考えれば大事なと反省を込めて
思っている次第です。以上です。

志賀教育長

甲高委員、お願いします。

甲高委員

それでは私からは 2 点ほど感想とお話をさせていただきます。まず 1 点目は、
竹田市共同募金委員会の運営委員会に参加させていただきました。毎年行って
おりますが、各学校へ生理用品の提供を、今年度も行っていただくようになり
ましたので、後日配布があるかと思います。ここで報告させていただきたいと
思います。もう 1 点目が、6 月 20 日は先ほど渡邊課長からもお話がありまし
たが、中体連陸上大会審判委員の一員として私も参加をさせていただきました。
雨の中だったのですが、生徒、先生方、保護者皆様そして、私が印象に残ったの
は、外部指導員の方が多く見えられておりまして、声高らかに生徒の応援をさ
れていました。その中でやっぱり生徒を見ていたんですが、その外部指導員の
方々が「最高記録出ているんじゃないか」とかいう言葉が多く聞こえてきまし
た。これはですね、普通、保護者の方が言うのもあるんですが、そういう方達
が言うと、私が一番思ったのは、やっぱり競争っていうか、日ごろ集まってやっ
ている中で他校からも違う選手が参加してやる競技の中で最高記録が出たりも
しているんじゃないかな。そして、外部指導の先生方、そして学校の先生方の
指導も、実を少しずつ結んできているんじゃないかなというふうに思います。
中で、保護者の方と話したんですが、実際力がついてきているというお話をい
ただきました。ちょっと私も聞いてみたんですが、そういう方もいますし、ま
だ伸びないけど頑張っていますという子もおられました。今、外部指導の方々
が多く入っていますが、この外部指導の方を含めて、だんだん竹田市の陸上が
盛り上がっていってくればいいかなあというふうに思っています。以上です。

志賀教育長

ありがとうございました。ただいまの教育委員の皆様の意見に対して、回答が
できる部分をお願いします。吉野委員から、パソコンの今後のリースの予定と
確保、それから学童保育、放課後子ども教室の今後について、中体連に関する
熱中症対策、などだったと思います。教育総務課長。

羽田野教育総務課
長

教育総務課からはパソコンの件と、わかる範囲で学童保育についてお答えしま
す。パソコンについてはリース期間満了に伴って、今 1 人 1 台タブレットは普
及しているという状況ですのもう今ほどの規模でのリース更新はしない方向
になっていたと認識しております。ただ、ICT 支援員等が入って、もう新し
い指導ですね、今いろんなソフトとかフリーで使えるものもあって、この間も
久住小で見せていただいたんですが、とても楽しい授業でした。その時は作曲
をするということをしていました。アプリを使って、作曲をするというものを
していたんですが、これからは、パソコン教室で使うちょっとハイスペックな、
普通のパソコンよりちょっといいものを置いて、そういうアプリだとか、シス

テムを構築するとか、そういったタブレットではできないようなことができるようなパソコンを置くのはどうかという話をしているのを聞いたことがあるので、今後どういった、全員がさわれるチャンスというのはないかもしれないけれども、そういった方向で、導入を考えるのではないかという段階です。そこまでしかわからないんですけど。昨日、図書館の監査があった中で、図書の検索用のパソコンの、使う回数が5年前と比べて10分の1ぐらいに減っているということで、今は子どもたちが、このパソコンで検索とか調べたりはせず、タブレットを持つようになって、それで検索とかできるので、利用の機会が減っているということのようでした。ですから、タブレットを1台持ったことで、子どもたちはそっちにばかりになってしまうという状況があるんだろうなというふうに感じました。それと学童保育ですね、これは社会福祉課の管轄で、こちらにも統合に伴って皆さんが不安に思われるので、いろいろと聞いて状況はわかる範囲で把握しています。高齢者の方がボランティアでしてくださっているようなところもあって、そこはもう本当に、人件費を無償でみたいな状態で、国から来る補助だけで運営しているというところもありました。おやつ代のみとか、そういうところもありまして、本当に条件とかが全然違うさまざまな環境とおっしゃる通りでした。ただ、こちらにも運営そのものは、PTA、保護者会がしているようなところ、委託するところがないのでほぼボランティアがしているとか、あとは夢つとさんなどのような業者というか、委託先があるところはしっかり人件費が必要なので月々3千円とかそういったお金がかかっているところもあって、そこがもう差はあるなあと感じています。あと白丹と久住の違いの中ですが、学校が統合したからといって、児童クラブが1つにならなければいけないということではない。そこはもう社会福祉課の方に確認して、統合して、児童クラブまで帰るという方法もあるという話は確認したので、うまく折り合いがつかなければ、まずは児童クラブまで帰ってそこにお迎えに来るという方法で1年目は様子を見るということも可能だという説明をしたところです。いずれにしても担い手がいないというところがあります。夢つとさんとかについても、人を雇っていますが、特に長期休暇中は大変だそうです。以上です。

志賀教育長

学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。中体連の卓球の会場の件で直入中学校に行ったときに、そういったご意見があったので、すぐにか次の日に中体連の方には伝えました。こういう意見をいただきましたということで。今年の当日、私も、バレー会場、野球それから卓球、テニス、剣道に行かせていただきました。やっぱり直入中でそういったご意見いただいていたので卓球のところは心配で、その時も伺いましたし、終わってからも聞きました。熱中症で悪くなったお子さんはいなかったことの報告をうけています。あと地域移行に関わって先ほど言っていた保護者への情報提供等もあるということでご意見いただきました。なかなか確定していないことをお伝えするというのが難しくてその辺の情報をやっぱり、本当はもっと進捗状況でもお伝えしたほうがいいんだろうけれども、確定してないことをお伝えすると、誤解になっても悪いしということで大変迷うところです。例えば、昨年度の例でいうと、地域クラブ側は、まだ決定しないんだけれども、年度の途中で合同練習はしていきますとかいうときには、対象の部活動の保護者さんには、こういう形で、合同練習をいついつから始めますということで、

対象の保護者さんにはお知らせしています。今、野球、バレーそれから、テニスに関しても合同練習を始めていこうかという流れがあるので、はっきりしましたら保護者の方には手紙を出していきたいと思います。それからもう1点先ほど陸上の競技力があがっていければという話もあったんですが、一方で、私みたいな陸上の素人からすると、指導者の方が一生懸命になりすぎて、言葉が正しいかどうかわかりませんがやり過ぎちゃうとか、子どもたちに無理をさせてしまうのではないかというような心配もします。そういったことを心配されて、「指導をしてあげるよ」って言えないような地域の方もいらっしゃる。ただ、そういうことがないように、でも子どもたちの成長になるようにということで、今後、市としては8月に指導者の方の研修を行う予定です。県の方は早速明日、別府の方で、文化部の指導者に対しては、実施していただきますので、難しいところなんですけど、子どもたちにより良い方法を模索しながら、今後地域移行を進めて参りたいと思います。以上です。

志賀教育長

生涯学習課長。

藤島生涯学習課長

はい。放課後子ども教室と地域協働本部推進員については、生涯学習課の管轄であります。どちらも、6月に会議を開かせていただきましたけど、皆さんがしっかり責任を持って今やっていますので順調に進んでいます。ただ、やはり後継者を探しています。そろそろ交代したいというような方が中には多くいます。そういう人たちも、自分でやっぱり納得できる人を選んでいただくように生涯学習課も声をかけながら、いろんな人に当たっています。コーディネーターや推進員の方々もやはり今まで培った土壌をしっかりと渡したいという思いがございまして、それを大事にしながら、生涯学習課と提携しながら次を探していきたいと思います。しかし、ほとんどが学校を退職した先生か市役所のOBというような形になっていますので、なかなかそういう方がいらっしゃらない地域もたくさんあります。その辺もしっかり考えながら、生涯学習課としても探していきたいと思います。以上です。

志賀教育長

質問に関してはよろしいでしょうか。進委員から出されましたのは合同チームと思えないほどの一体感。応援も一体化していた。ありがたいことだと思います。そういったことを、こちらもお知らせしないといけませんし、見ていただきたいと思っています。それから岡委員から出された本人通知制度についてですが、あまりなじみのない制度かもしれません。仮に登録したところで、自分のことを誰かが調べて、自分に何か害があるということは、あまりないのかもしれませんが。今は市役所の職員は100%登録できています。教員については、市外から来る方もたくさんいるので、これは竹田市に限った制度ではありませんが、100%には至っていません。自分自身に何か被害があることはそうないかもしれませんが、要するに悪者が悪用するわけです。登録者が多い地域、多い市には、そういった、悪用しようとする業者であるとか団体とかが、なかなか入りにくいというメリットがあります。ですからこれはみんなが登録する必要があるんです。そういう差別をはねのける力がある市ということになるかと思います。それから寝た子を起こすなという議論です。自分はもう差別するつもりもないし、周りでも差別なんかないし、改めてそんなことを学ぶ必要はない。そういった考え方の人、まだ多くおられると思います。この答えは、人間は間違いを繰り返す生き物だ、ということです。このことが一番証明されている

のは戦争で、もうこんなに痛い目にあって、もう二度と戦争は起こすまい、と
思って、けれども戦争は起こる。戦争は最大の人権侵害と言われます。間違い
を繰り返さないためにも真実を学ばなければならない。そういった理論だと思
います。と、言ったところですがその他ないでしょうか。それではないよう
です。これで第7回定例会を閉会します。

(閉会)

[閉会時刻:午後3時59分]